



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 大同工業株式会社

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 真田 昌則

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,977	12.2	1,207	656.8	1,501	—	863	—
25年3月期第2四半期	18,691	△2.0	159	△63.2	131	△72.8	12	△94.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,155百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	18.35	—
25年3月期第2四半期	0.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	52,925	21,872	33.1	372.66
25年3月期	50,434	19,955	31.6	338.25

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,541百万円 25年3月期 15,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	13.1	2,200	212.2	2,450	146.8	1,250	79.7	26.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	47,171,006 株	25年3月期	47,171,006 株
26年3月期2Q	100,589 株	25年3月期	100,312 株
26年3月期2Q	47,070,585 株	25年3月期2Q	47,072,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済が回復基調にあるものの、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、政府による積極的な経済政策及び日銀の金融緩和政策を背景に円安・株高が進行し、景気回復に向けた明るい兆しが見え始めています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、タイにおいてロジスティックセンターが本格稼働するとともに、インドにおいて二輪車用チェーン工場の一貫生産体制構築に向けた投資、米国において四輪事業への本格参入に向け四輪車用チェーン生産工場建設への投資を決定するなど、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。国内においては、為替の円安効果を受けるとともに、産業機械関係を中心に受注が堅調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,977百万円（前年同期比12.2%増加）、営業利益は1,207百万円（前年同期比656.8%増加）、経常利益は1,501百万円（前年同期は131百万円の経常利益）、四半期純利益は863百万円（前年同期は12百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①日本

二輪車用チェーン、リム等において、為替の円安効果があったものの、完成車メーカーの海外生産移管等の影響により受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。四輪車用チェーンは、完成車メーカー向けにおいて採用車種の販売が好調であったことにより前年同期を上回りました。産業機械用チェーンにおいては、国内設備投資の回復基調の影響もあり、順調な受注状況で推移するとともに、コンベヤ関連において、製鉄メーカー向け的大型案件の売上が計上されたことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は12,389百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

②アジア

二輪車用チェーン、リムにおいては、完成車メーカー向けでタイ、インドネシア、インドを中心に受注が好調に推移したことから前年同期を上回りました。四輪車用チェーンにおいてはタイを中心に受注が順調に推移し、前年同期を上回りました。コンベヤ関連においては昨年9月にタイにおいて新規連結子会社Interface Solutions Co., Ltd. が加わったことで前年同期を上回りました。

その結果、売上高は5,106百万円（前年同期比36.5%増）となりました。

③北米

為替の円安の影響及び四輪車用チェーンの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は1,241百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

④南米

昨年から引き続き、政府による金融規制の影響により、二輪車の販売が低調であったことから厳しい受注状況で推移したため前年同期を下回りました。

その結果、売上高は1,652百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

⑤欧州

景気低迷の影響から受注は前年同期並みであったものの、為替の円安の影響もあり、売上は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は588百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、たな卸資産が251百万円減少したものの、現金及び預金が1,364百万円増加、機械装置及び運搬具が296百万円増加、投資有価証券が660百万円増加したことなどにより2,491百万円増加し、52,925百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、借入金（短期借入金・長期借入金）が92百万円増加、繰延税金負債が462百万円増加したことなどにより574百万円増加し、31,053百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、為替換算調整勘定が551百万円増加したことなどにより1,916百万円増加し、21,872百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況の概況は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,362百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には4,095百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,370百万円（前年同期は718百万円の獲得）となりました。これは主に、退職給付引当金が170百万円減少（前年同期は143百万円の減少）、売上債権が104百万円増加（前年同期は385百万円の減少）したものの、税金等調整前四半期純利益を1,500百万円（前年同期は125百万円）、減価償却費を1,077百万円（前年同期は969百万円）計上し、仕入債務が200百万円増加（前年同期は583百万円の減少）、たな卸資産が251百万円減少（前年同期は105百万円の減少）したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は910百万円（前年同期は684百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出911百万円（前年同期は537百万円の支出）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は197百万円（前年同期は255百万円の獲得）となりました。これは主に、借入による収入（純増額）が92百万円（前年同期は722百万円の収入）、配当金の支払額138百万円（前年同期は141百万円の支出）等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結ならびに個別業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の数値を修正をいたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,294	4,658
受取手形及び売掛金	9,425	9,530
商品及び製品	2,954	2,872
仕掛品	2,427	2,186
原材料及び貯蔵品	2,227	2,298
繰延税金資産	251	267
その他	573	655
貸倒引当金	△55	△45
流動資産合計	21,099	22,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,074	5,252
機械装置及び運搬具（純額）	4,058	4,354
土地	2,980	3,045
リース資産（純額）	2,054	1,991
建設仮勘定	425	463
その他（純額）	789	820
有形固定資産合計	15,382	15,929
無形固定資産		
のれん	262	243
ソフトウェア	107	108
その他	20	28
無形固定資産合計	390	380
投資その他の資産		
投資有価証券	12,994	13,655
繰延税金資産	74	97
その他	440	389
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	13,509	14,141
固定資産合計	29,281	30,450
繰延資産		
社債発行費	53	50
繰延資産合計	53	50
資産合計	50,434	52,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,032	4,095
短期借入金	10,175	8,749
リース債務	486	455
未払法人税等	80	151
賞与引当金	359	414
役員賞与引当金	9	—
製品保証引当金	35	33
その他	1,788	1,882
流動負債合計	16,968	15,783
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	3,867	5,386
リース債務	559	529
繰延税金負債	1,162	1,625
退職給付引当金	3,286	3,116
その他	134	113
固定負債合計	13,510	15,270
負債合計	30,478	31,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	7,180	7,902
自己株式	△18	△18
株主資本合計	11,948	12,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,634	4,979
為替換算調整勘定	△661	△109
その他の包括利益累計額合計	3,972	4,870
少数株主持分	4,033	4,330
純資産合計	19,955	21,872
負債純資産合計	50,434	52,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,691	20,977
売上原価	15,617	16,524
売上総利益	3,073	4,453
販売費及び一般管理費	2,914	3,246
営業利益	159	1,207
営業外収益		
受取利息	8	19
受取配当金	117	126
為替差益	—	142
持分法による投資利益	112	122
その他	65	109
営業外収益合計	304	522
営業外費用		
支払利息	216	188
為替差損	63	—
その他	52	39
営業外費用合計	332	227
経常利益	131	1,501
特別利益		
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	1
リース資産除却損	—	7
特別損失合計	6	9
税金等調整前四半期純利益	125	1,500
法人税、住民税及び事業税	53	212
法人税等調整額	8	228
法人税等合計	62	440
少数株主損益調整前四半期純利益	62	1,059
少数株主利益	50	195
四半期純利益	12	863

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62	1,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,185	340
為替換算調整勘定	△18	750
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	4
その他の包括利益合計	△1,211	1,096
四半期包括利益	△1,148	2,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,215	1,761
少数株主に係る四半期包括利益	67	394

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	125	1,500
減価償却費	969	1,077
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△143	△170
受取利息及び受取配当金	△125	△146
支払利息	216	188
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△8
売上債権の増減額(△は増加)	385	△104
たな卸資産の増減額(△は増加)	105	251
仕入債務の増減額(△は減少)	△583	200
その他	△11	△259
小計	937	2,528
利息及び配当金の受取額	140	160
利息の支払額	△215	△191
法人税等の還付額	26	0
法人税等の支払額	△169	△127
営業活動によるキャッシュ・フロー	718	2,370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	225	—
定期預金の預入による支出	△22	△1
有形固定資産の取得による支出	△537	△911
有形固定資産の売却による収入	0	8
投資有価証券の取得による支出	—	△20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△332	—
その他	△18	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△684	△910
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	48	△434
長期借入れによる収入	1,733	2,154
長期借入金の返済による支出	△1,058	△1,626
セール・アンド・リースバックによる収入	—	130
社債の発行による収入	1,800	—
社債の償還による支出	△1,800	—
配当金の支払額	△141	△138
少数株主への配当金の支払額	△77	△85
その他	△248	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	△197
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	337	1,362
現金及び現金同等物の期首残高	2,314	2,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,651	4,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,754	3,741	1,010	1,697	487	18,691	—	18,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,898	200	0	—	1	2,101	(2,101)	—
計	13,653	3,942	1,010	1,697	489	20,792	(2,101)	18,691
セグメント利益又は損 失(△)	41	127	32	△32	12	180	(20)	159

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アジア」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にInterface Solutions Co., Ltd.の株式を取得し、連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、201百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	南米	欧州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	12,389	5,106	1,241	1,652	588	20,977	—	20,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,243	227	—	—	3	2,475	(2,475)	—
計	14,633	5,334	1,241	1,652	592	23,453	(2,475)	20,977
セグメント利益	969	227	46	0	14	1,258	(51)	1,207

(注) 1. セグメント利益の調整額△51百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。